

第1回 環境保全、情報発信WGの開催結果

日 時	平成23年10月19日(金) 10:00~12:00		
場 所	京都府南丹広域振興局(亀岡総合庁舎)3階 第2会議室		
出席者	<p>NPO法人プロジェクト保津川 副代表理事 原田 禎夫 グループ長 かめおか市民活動推進センター運営委員会 運営委員長 中島 三羊子 副グループ長 保津川遊船企業組合 エコ・グリーン対策委員長 森田 孝義 西つつじヶ丘自治会 会長 小松 康之 亀岡駅周辺地区まちづくり協議会 会長 小川 博 NPO法人 亀岡子育てネットワーク 理事長 田中 美賀子 ひえよしクラブ 会長 桂 英生 亀岡市秘書広報課 山内副課長 " 環境政策課 山内係長 " 桂川・広域交通課 中井課長、柴田副参事、竹村主査 (事務局) 京都府南丹土木事務所 企画調整室 田村副主査 " 河川砂防室 松崎室長、井尻副室長</p> <p style="text-align: right;">(順不同、敬称略)</p>		
内 容 (次第)	<p>1)開 会 2)出席者紹介 3)ワーキンググループの設置にあたって 4)議 事 ○意見交換 ・保津川の河川環境を巡る課題 ・保津川の河川利用を巡る課題 ・保津川かわまちづくりの情報発信について ○次回以降の進め方 ・WGで当面の検討事項について 5)閉 会</p>		
結 果	<p>○今後、環境保全と情報発信の具体的な取り組みについて、議論を深めていく</p> <p><主な意見> (環境保全に係る主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の通信簿の取り組みを進め、川の実情を広く知ってもらう ・きれいに保つことがゴミの投棄を防ぐ ・若草山の山焼きのように保津川の堤防焼きを年中行事としていく。草の管理、風物詩になる ・上流域の環境保全、山の保全も重要なテーマ ・環境や景観を保全することに加え新たに創造していく観点も必要。そのためには100年計画といった息の長い取り組みが必要。 ・里山は適度に人の手を加えて保全されている。里川も同じ。 ・ゴミの中でもレジ袋は非常に多い。単にゴミの投棄をやめようというのではなく、ゴミの不始末が川や環境悪化にどうつながっているのかということを訴えていく ・子どもたちが川に親しめるような、また環境保全の大切さを実感する取り組み(自らゴミをひらうなど)が必要 ・世代に応じた取り組みや、情報発信の仕方を考える必要がある 		

- ・ 下水道の整備が進んでいない地域からは依然雑排水が支川に入り保津川に流入しており、水質の保全、改善は重要な課題
- ・ 河川工事を行うに当たり、地域や地域の川のことに詳しい、地域の声を反映する仕組みづくりが必要ではないか

(情報発信に係る主な意見)

- ・ まずは単独のHPを立ち上げ、かわまちのみならず、保津川に関わる様々な情報を一元化して保津川と亀岡の魅力を発信していく
- ・ 参加団体ごとに広報誌などでかわまちづくりを情報発信
海ゴミサミットを契機に川の環境保全、かわまちづくりの情報を発信していく

